

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市港・中川・楠・富田プール

団体名：公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会

複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

施設の管理運営に対する方針等

<基本方針>

1. 「安全・安心の確保」と「公平・公正」なプール運営
2. 利用者ニーズに対応した「高品質なサービス」の提供
3. 地域のパートナーシップによる運営
4. 「効率的な維持管理」と「環境への配慮」の両立

管理運営体制

<組織・人員の配置・体制>

	港	中川	楠	富田
総括責任者	1人		1人	
プール施設責任者	3人	3人	3人	3人
プール管理担当者	1人 プール施設責任者兼務	1人 プール施設責任者兼務	1人 プール施設責任者兼務	1人 プール施設責任者兼務
プール監視員				

状況に応じて監視員を配置する。

受付担当者は、プール監視員を含めたローテーションを基本とする。

<人材育成方針>

- ・職員の継続的な能力向上を図ることにより、市民と協働して安定的・持続的なサービスを提供することができる職員を育成することを方針として掲げ、その方針に沿った人材育成を実施する。

<市民の平等利用に関する考え方>

- ・3つの基本方針を定め、これらに沿って平等・公正な施設運営を行う。
 - 1 法令等を遵守した平等・公平な施設運営
 - 2 お客様とともに創る開かれた施設運営
 - 3 すべてのお客様に配慮した施設運営

<災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方法>

- ・災害時に備え、マニュアルの常備・改訂を行うとともに、日々の出勤者の役割を明確にし、初動体制の確立と定期的な訓練・教育を実施する。
- ・事故発生時には、全従事者による緊急体制を構築し、火災、地震、風水害に備えた対応マニュアルに沿って行動するとともに、名古屋市・消防署・警察署・医療機関との連絡体制を確立する。

<施設維持管理業務>

- ・日常点検により異常を早期発見することで、施設を良好に保つ。
- ・予防保全に重点を置き、修繕計画に基づく維持管理により施設の長寿命化を図る。

(2) 実施業務の計画について

指定管理業務

【利用者増加・満足度向上・受講率向上・地域協働件数の増加への取り組み】

- ・要望の多いご意見に配慮して、継続利用の促進を図る。
- ・利便性に配慮した利用の促進を図る。
- ・スポーツ施設の管理経験を生かしたサービスを提供する。
- ・様々な方法により情報を収集し、速やかな対応と情報共有、情報開示を行い、サービスの提供や改善に活用した結果の効果測定を行う。

自主事業（実施している場合）

【利用者増加・満足度向上・受講率向上・地域協働件数の増加への取り組み】

- ・開館日の拡大により、子どもたちの期待に応える（港・楠・富田）。
- ・子どもたちが主役となって夏の思い出づくりができる事業を展開する。

(3) 収支計画について

管理運営にかかる費用等

<各年度ごとの提案総額（各年度ごとの総計）>

28年度	48,713 千円（港・中川・楠・富田プール）
29年度	48,713 千円（港・中川・楠・富田プール）
30年度	38,145 千円（港・楠・富田プール）
31年度	38,145 千円（港・楠・富田プール）
32年度	38,141 千円（港・楠・富田プール）

<期間を通じた収支計画>

【指定管理料】 = 【管理運営経費（自主事業にかかる経費相当分を除く）】 - 【自主事業収入】

<年度ごとの収支計画>

【管理運営経費（自主事業にかかる経費相当分を除く）】

28年度	48,877千円
29年度	48,877千円
30年度	38,281千円
31年度	38,281千円
32年度	38,297千円

【自主事業収入】

28年度	164千円
29年度	164千円
30年度	136千円
31年度	136千円
32年度	156千円